

【世界の被災地を覚えて祈りましょう】

この夏は世界各地でも甚大な災害被害が起きています。

ハワイ・マウイ島での山火事

モロッコ地震

リビア洪水

報道によると、モロッコとリビアでは政治状況など国内情勢の影響で各国の支援が円滑に届いていないとのこと。外国の支援が入ることで、自国の見られたくない内情が世界に伝わってしまう事への恐れ。また、国内で対立する政治勢力が支援を阻む。こうした事情で必要な人手が届かないという問題が表面化しています。災害自体も悲しいことですが、権力者の見栄や権力争いによって被災者が必要な助けを受けられないことに憤りを感じます。罪の世界の難しさを改めて感じることですが、私たちはまず被災者のために祈りの手を挙げましょう。

こうした中で、キリスト教支援団体が現地との民間ネットワークを用いて支援を行っている情報も伝わってきます。オペレーション・ブレッシングは、モロッコの山間部の小さな村へ現地の教会と協力して物資を届けたそうです。蒲田シオンでは宣教部でまずは情報収集を行い、今後の支援金の送金を検討しています。

【世界のキリスト教界事情】

パキスタンでは、あるキリスト教徒がイスラム教のコーランを冒瀆したことが発端で、イスラム教徒が暴徒化してキリスト教会やクリスチャンを襲撃する事件が起きています。暴動が沈静化するように祈りましょう。

【ご協力ください】

有志ボランティアチームによる無料食品配布は、10/7(土)に次の活動を予定しています。

配布用の食品の寄付を受け付けています。特に、お菓子、パックご飯、袋麺、カップ麺を募集しています。

地域の方からも寄付をいただいています。近隣の方や、かつての小鳩幼稚園卒園生や教会学校生徒の家族など、蒲田シオン89年の歴史によって紡がれた地域との繋がりを感ぜさせる出会いもあります。私たちの思いを越えて主が働いてくださっていることを覚えて励まされます。

【礼拝賛美】神の国と神の義を

(2回くりかえし)

神の国と神の義を まず求めなさい

そうすればみな与えられる

ハレル ハレルヤ

「ヤコブの家よ、わたしに聞け。イスラエルの家のすべての残りの者よ。胎内にいたときから担がれ、生まれる前から運ばれた者よ。

あなたが年をとっても、わたしは同じようにする。あなたが白髪になっても、わたしは背負う。わたしはそうしてきたのだ。わたしは運ぶ。背負って救い出す。」

イザヤ書 46章3〜4節

今朝は「敬老の日」として守る礼拝です。イザヤ書四六章は捕囚の身となったユダの民に、神がご自身とバビロンの偶像の神と対比する内容です。三〜四節を中心に一言で言えば、人間や獣が背負う神か、人間を背負う神かと問いかけ、八節に「遠い大昔のことを思い出せ。わたしが神である。ほにかはいない。わたしのような神はいない」。モーセは「また荒野では、この場所に来るまでの全道中、あなたの神、主が人が自分の子を抱く(背負う)ようにあなたを抱いて(背負っ

て)くださったのを、見ているのだ」と言つた(申命記一・三一)。

三〜四節は、私の人生・伝道者生涯で、詩篇三〇篇五節「いのちは恩寵のうちにある」の聖句と共に、私自身の寿命を保証された大切な聖言です。クリスチャンの神は、すでに母の胎にある時から選ばれ誕生後の生涯を神と共に歩み、神のみもとに携え上げられまでの全行程において、私たちを背負って運び天に召してくださる神なのです。第一、不変不動の神の愛と真(誠)実です。

神の民の歴史は、人の一生涯として学べます。「わたしは背負う」との約束は「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」。キリストの愛と真実は十字架において実現しているからです。

第二、神により頼んで生きる確かさです。

①それは生ける真の神だからです。八節以降に「思い出し、思い返せ、思い出せ」と促されています。前述の申命記の聖言は神が、いま私たちに今日に至るまでの信仰生涯を思い返して見よ。わかるだろう、と促しておられるように思えてなりません。

②それは神が私たちの創造者だからです。他訳の四節は「わたしは造ったゆえに」とあります。「わたしが造ったゆえに、∴白髪になるまで∴全責任をもって「わたしは負う」と言われる神だからです。この神に生涯を委ねて天に召して頂きたいものです。(英)

9月17日聖日礼拝

第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 戸梶 姉 高橋美姉

招 詞 イザヤ書49章13節

会衆賛美 聖歌384

会衆賛美 神の国と神の義を(2回)
(歌詞は週報4面に掲載)

主の祈り

交 読 詩篇71篇5〜8節
15〜20節

礼拝祈祷

使徒信条

聖書朗読 イザヤ書46章1〜13節

説 教 わたしは背負う

会衆賛美 聖歌273 田中英師

献 金

頌 栄 聖歌376

祝 詞

報告

後奏 感謝祈祷

【招 詞(主の招きのことば)】

イザヤ書49章13節「天よ、喜びの
声をあげよ。地よ、小躍りせよ。
山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご
自分の民を慰め、その苦しむ者をあ
われまれるからだ。」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後

■小学科ホザナ礼拝 3階 11時
お話し 荻野牧師

■こひつじ礼拝 4階 11時

■バイブルカフェ
談話室 12時15分

■役員会 牧師室 13時半〜

【次週の礼拝説教】

〔説教者〕 荻野牧師

〔聖書箇所〕 ヨハネの福音書
14章1〜7節

〔説教題〕 備えられた住まい

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈祷 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階 司会者

献金祈祷 司会者

報告 司会者

受付 配信チーム

■第2礼拝

礼拝祈祷

聖書朗読

献金1階

1階

2階

献金祈祷 司会者

報告 荻野牧師

会場 受付

【教勢報告】 9/10

・第1礼拝 24

・第2礼拝 38

(内、ホザナ8、幼1)

・小学科礼拝 4

敬老の祝い

(対象者 54名)

明日18日の「敬老の日」に先立
ち、左記の兄姉に教会からプレゼン
ト(入浴剤)を差し上げます。
祝福をお祈りいたします。

【召天者記念礼拝・墓地礼拝 ご案内】

日程 9月24日(日)

■召天者記念礼拝

〔会場〕 蒲田シオン教会

〔時間〕 第1礼拝 9時〜
第2礼拝 11時〜

*第1礼拝をオンライン配信します

■墓地礼拝

〔場所〕 多磨霊園 教会墓地

〔時間〕 午後2時30分〜

*納骨式(対象者・6名)も行います

※墓地礼拝の送迎バスについて

教会から多磨霊園の往復バスを用
意します。

〔乗車賃〕(1席) 3,000円

○教会出発 昼12時45分

○教会帰着 夕5時(予定)

*座席数に限りがあります。

・申し込みは先着順です。

・自家用車などご自分で交通を用意
できる方はそのように協力願います。

【お祈りください】

第7回日本伝道会議

〔日程〕 9月19日(火)〜22日(金)
〔場所〕 岐阜県岐阜市
長良川国際会議場

シオンは教団枠の参加者として
10名が各シオンから出席。それに加
えて大会の運営側として2名(大会
会長、神学生奉仕)。合計12名です。
蒲田からは現地の交通事情も考慮
して伝道車で出掛けます(他の参加
者と4名で乗り合い)。行き帰りの交
通と現地での活動が守られ、見るべ
きものを見、聖霊の語り掛けを聴く
ことができるようにお祈りください。
後日、報告のときを持ちます。